

言葉の務め(22)

= 律法を理解し楽しむ道 =

詩篇119編33-56節

掟に従う道と律法にとどまる(33-40節) 新約では律法は私たちの心の中に書き込まれているから(ヘブル10:16)、その油塗りにとどまる(1ヨハネ2:27)

御言葉により頼み、裁きを待ち望み、命令をたずね求め、戒めを愛し、楽しむ(41-48節) 新約の律法はいのちを与え、自由を与える(ヤコブ1:25;2:8;2:12): 私たちが律法を守っていること(=いのちの御霊の法則に従うこと)は、内なる自由と楽しみの存在によって分かる

主のみ言葉はいのちを与える(50節) & 主の命令に従うことだけが目的(56節) 新約の律法の本質(ヨハネ13:34;ヤコブ2:8;1ヨハネ5:1)

暗証聖句

- 119:33 主よ、あなたの掟に従う道を示してください。最後までそれを守らせてください。
119:34 あなたの律法を理解させ、保たせてください。わたしは心を尽くしてそれを守ります。
119:35 あなたの戒めに従う道にお導きください。わたしはその道を愛しています。
119:40 御覧ください/わたしはあなたの命令を望み続けています。恵みの御業によって/命を得させてください。
119:42 わたしを辱めた者に答えさせてください。わたしは御言葉に依り頼んでいます。
119:45 広々としたところを行き来させてください。あなたの命令を尋ね求めています。
119:47 わたしはあなたの戒めを愛し/それを楽しみとします。
119:50 あなたの仰せはわたしに命を得させるでしょう。苦しみの中でもそれに力づけられませぬ。
119:56 あなたの命令に従うこと/それだけが、わたしのものです。

ヤコブ1:25 しかし、自由をもたらす完全な律法を一心に見つめ、これを守る人は、聞いて忘れてしまう人ではなく、行方人です。このような人は、その行いによって幸せになります。

ヤコブ2:8 もしあなたがたが、聖書に従って、「隣人を自分のように愛しなさい」という最も尊い律法を実行しているのなら、それは結構なことです。

ヤコブ2:12 自由をもたらす律法によっていずれは裁かれる者として、語り、またふるまいなさい。